

第2510地区 第11グループ



2010~2011

The Weekly Report of

Hakodate North R.C.

# 函館北ロータリークラブ会報

2010~11年度  
国際ロータリーのテーマ

## 地域を育み、 大陸をつなぐ

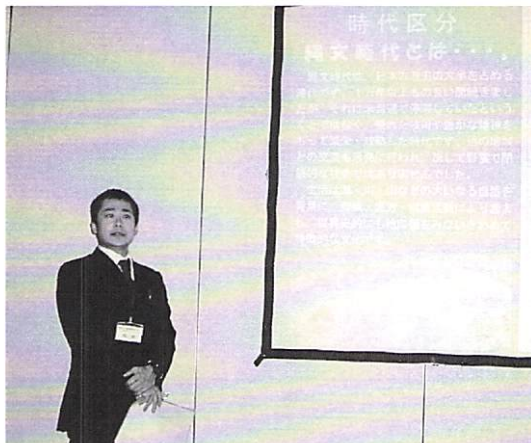


BUILDING COMMUNITIES  
BRIDGING CONTINENTS

2010~11年度  
国際ロータリー会長

レイ・クリンギンスミス

阿部誠太 会長 テーマ —— ロータリー精神の初源に帰ろう ——



2月23日 市役所出前講座 函館市役所文化財課 吉田 力氏

### 《第2280回例会》 第31号 3月2日(水)

#### 本日のプログラム

#### 早朝例会

於 函館国際ホテル 午前7時~

★会長 阿部誠太 ★幹事 増山 正

例会場：函館国際ホテル 〒040-0064 函館市大手町5-10 TEL23-5151  
例会日：毎週水曜日 12:30~13:30 事務局：函館市大手町5-10 二チロビル4F TEL23-3870

**DUSKIN.**  
喜びのタネをまごう

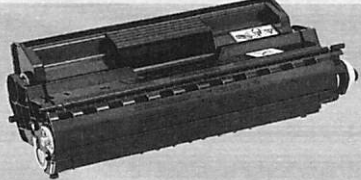
リサイクルトナー選びの新基準...  
①大幅なコストダウンが図れるか?  
②サポート体制は万全か?

## ダスキントナーカートリッジ リサイクルサービス

**納得のリサイクルトナー**

- 純正品トナーの約半分のコスト!
- さまざまなプリンターに対応!
- カンタンFAX発注 翌日納品!
- メンテナンス要員が安心のサポート!

**(有)ダスキん朋友**  
函館市吉川町5-33  
TEL (0138) 41-1199



(広告掲載：増山 正 会員)

函館北ロータリークラブのホームページアドレス <http://www.hakodate-north.org/>

【3月1日現在のアクセス数：11307件(+14件)】

◎ 2月9日出席報告 (小河 博保 副委員長)

会 員	24名	出席率対象会員	23名
		出席規定免除会員(a)	0名
		出席規定免除会員(b)	1名
当日出席	21名	当日欠席	2名
他クラブ出席	2名	出席合計	23名
出席率	100%		

・テレフォンサービス(例会移動案内) 電話 26-3170番

次回・3月9日  
プログラム

「クラブアッセンブリー」

森元ガバナー補佐をお迎えして

於 函館国際ホテル 12時30分～

2月23日の記録

◎司 会 阿部 誠太 会長      ◎齊 唱 我等の生業、四つのテスト

◎ゲ ス ト 函館市役所文化財課 吉田 力 氏

◎会長報告 阿部 誠太 会長

- 本日2月23日はロータリー創立記念日です。(106周年)
- 日台ロータリー親善会議が6月10日(日)京都で開催されます。参加ご希望の会員は幹事まで。

◎委員会報告

○国際奉仕委員会 増田 定雄 委員長

- ・GSE団員の募集について

R I 第2510地区GSE派遣の案内がきています。派遣場所はドイツ、ミュンヘンです。期間は2012年4月28日から30日間です。申し込み方法等については回覧しますのでご覧下さい。

◎幹事報告 増山 正 幹事

- 公益財団法人ロータリー日本財団が認定され、2011年4月1日よりロータリー財団寄付金について税制上の優遇措置の対象となりました。但し、恒久基金への寄付につきましては、現時点で優遇措置の対象外になります。
- 例会終了後、理事会を開催いたします。

◎親睦活動委員会 小河 博保 委員長

ニコニコBOX投入報告

- 柴崎会員……しばらく休みます。
- 渡部会員……ゲストスピーカー吉田様を歓迎して。
- 南木会員・藤田会員……柴崎会員の手術の無事成功を。
- 小笠原会員・森 会員……BOXに協力。
- 西尾会員……誕生月です。

◎市役所出前講座「縄文時代の函館」 函館市役所文化財課 吉田 力 氏

南茅部地域の遺跡

南茅部地域は資源豊富な海と山に囲まれ、また数多くの小河川があるなど、縄文の人々が生活し、文化を発展させる上で絶好の自然環境に恵まれています。そのためこの地域には、縄文時代早期から晩期に至る約7,000年間、連続と縄文文化が栄えていました。発掘された資料の中には、国内最大級の国宝「土偶」(中空土偶)や縄文農耕の根拠となったヒエの炭化種子、専門技術集団の存在を示唆するアスファルト加工工房址など、学術的にも極めて重要なものがあります。また、新潟産のヒスイや秋田産のアスファルトが多量に出土していることから、当時はこの地域が中心的な役割を果たしていた

と推測されています。

### 遺物が語る縄文の食と文化

これまで縄文人は、獣や魚を捕って暮らす狩猟・採集民で、厳しい生活をしていただわれていました。

しかし、ハマナス野遺跡から縄文時代前期のヒエの炭化種子が発見され、簡単な雑穀の栽培が行われていたことがわかりました。そのほか大船遺跡では、炭化したクリの実や、クジラ、オットセイ、マグロ、貝殻、珪藻土などさまざまな食べ物の痕跡が発見されており、当時の食生活が豊かであったことがわかります。

安定した生活基盤を背景として、漆器やヒスイの加工、また接着剤としてアスファルトを利用するなど、高い技術が確立されます。さらに、子どもの足形を付けた足形付土版の製作や香炉形土器の使用などから豊かな精神性もうかがえます。

### 遺跡と発掘調査

南茅部地域には現在（2009.4）、91カ所の遺跡（埋蔵文化財包蔵地）が確認されており、その面積は延べ約160万㎡に及びます。

初めて学術的に調査されたのは、昭和38年の函館中部高校による黒鷲遺跡の発掘です。その後、昭和48年に国庫補助事業によるハマナス野遺跡の本格的な調査に着手してから今日まで、発掘を続けています。これまで発掘した遺跡数は30カ所以上、その発掘面積は10万㎡に及びます。その間に出土した遺物は400万点を超えており、なかには国宝となった著保内野遺跡出土の「中空土偶」（縄文時代後期）など、多くの貴重な遺物もあります。これらの縄文遺跡群は平成13年、北海道遺産に認定されています。

### 年 表

9,000年前	6,000年前	5,000年前	4,000年前	3,000年前	2,000年前
早期	前期	中期	後期	晩期	
川汲A遺跡 川汲B遺跡 垣ノ島B遺跡	八木A遺跡 ハマナス野遺跡	一臼尻B遺跡 大船遺跡 川汲A遺跡 木直C遺跡	豊崎N遺跡 磨光B遺跡 著保内野遺跡	大船A遺跡	
			垣ノ島A遺跡		
●押型文土器、貝殻文土器がつけられる ●漆が使われる	●円筒土器文化が発達し、大規模集落がつけられる ●盛土遺構がつけられる	●ヒスイ・アスファルト等が持ち込まれる ●ストーン・サークルがつけられる ●中空土偶がつけられる			

この地域に初めて縄文人が住んだのは、今から約9,000年前。川汲A遺跡ではその証拠となる押型文系の土器と竪穴住居跡が発掘されています。その後、縄文海進と呼ばれる温暖化現象を経て、前期・中期を代表とするハマナス野遺跡、臼尻B遺跡、史跡大船遺跡などの大規模な集落が形成されます。また後期・晩期になると、人々の精神文化は高揚し、土偶やストーン・サークルがつけられるようになります。交易も盛んとなり、ヒスイやアスファルトも遠隔地から入ってきます。